

しんらん同人

No.535

11・12

月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

前住職 前坊守

二人で行った最後の旅行 草津温泉での写真

年が離れている兄と義姉は、私にとって父や母のように頼れる存在でした。

恭子（坊守）

われも ひかりの うちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

最近、時の流れの速さをつくづく感じさせられた事がありました。何時ものように朝食を終わり、七種類の食後の菓を口に運んでいる時に、坊守が言った一言「菓ってなくなるのが早いわね。一ヶ月分なんてすぐになくなるのね。」

本当に、ひと月分の菓をもらった直後は、これでしたらしくは病院に行かなくて良いと思うのですが、瞬く間に菓が底をついてしまいました。

同じように、私達は自分の命はいつまでもあるものだと思っているようです。

しかし、一生を測る砂時計が目の前にあり、刻々と砂が落下する様子を目の当たりにする状況下になれば、と想像するだけでこのままが良いのかと反省した次第です。

それでもなお、孫が、私（おじいちゃん）の死が悲しいことではないと思える年までは生きていたいと考えてしまうのであります。

お寺や信仰は、亡くなった人のためにあるのではない。生きている私たちが豊かな生活を送るためにありますと言いながら、雑念が沸き上がる今の自分がいます。

南無阿弥陀仏。 南無阿弥陀仏。

久野俊子夫人の最後

「13回忌に婦人を偲んで」

誓願寺住職 岡本泰雄



（前号からの続き）

だから久野さん、あなたのやっつけていらっしやることは、そりゃ人間としては立派な行いかも知れないけれども、そのやったことはお浄土に生まれる因（たね）にはならないのです。

清浄真実の世界に生れていく因にはならないのです。

みんな迷いの世界の善であって、お浄土のに生れる因となるような善ではない。

だから地獄よりほかに往く場所はないのです。

それは、仏さまの光りに遇って自分というものを眺めさせてもらってみればみるほど、実にお粗末な恐ろしい心を持つ、浅ましい気持ちを持った自分なので、そのやることに真実のあらうはずがないし、純粹な善なんかあり得ない。

それを、僅かな善をしたから自分は極楽に生れるだろうと思う。

とんでもないことである。しかも、あなたのような今の体となって何でという善が出来ますか、と。

私はそういう、ちよっとひどかったかと思えますけれども、そう申し上げました。

そこで、お浄土へ生れるということは私の力ではない。

私がお浄土に生れさせてもらうというのは、如来の本願力、仏さまのお力による他には我々の救われる道はない。

だから、如来は我々のこの汚い心、浅ましい思い、おろかな気持ちを全て見抜いておられる。

そうして、この苦しみに迷っているこの私を助けずば仏とはならじ。

どんなことがあっても救うぞ。必ず救うというその願いを、如来の方から私にかけていて下さるのです。

私を救おうと如来の方が一生懸命になっていて下さる。

その願いを仕上げたのが南無阿弥陀仏ということなのです。

ですから、南無阿弥陀仏という善根を唱えてお浄土に往くというのではなく、南無阿弥陀仏ということは、如来の喚（よ）び声なのです。

必ず救うぞ。間違わさんぞ。お前を絶対に落とすはしないぞよと、私を温かいお慈悲の腕の中抱き取って下さることが、南無阿弥陀仏であります。

南無阿弥陀仏と称える力で助かるのではなくて、助けられている証拠が南無阿弥陀仏であります。

おろかな自分、汚い自分がそのままお慈悲に抱かれているのです。

だから、如来の願力を信じ、如来のお慈悲を信じてお念仏を申していく。

念仏はただ有難うございますという感謝の念仏なのです。でありますから、あなたは少しも気張る必要はないのです。

捨てるどころか、次から次に起こってくる煩惱、そのために悩み苦しむこの私を見通されて、この者を何としてでも救いたい、それを救うことが出来なければ仏（正覚）にはならないと誓われたのです。

こんな浅ましい私をお目当てのお慈悲であります。

救われるのはあなたの力ではない。如来の力一つで救われて往くのなら、何も心配することはないのです。ということをお話しました。

そして、寛子さんはお浄土に居られて、自分もそこに往こうと思っている。それも間違いだということをお話しました。

お浄土に参られた寛子さんは、お浄土にぽかんと待っていて、ご両親が何時来るかなあなんて、ハスの花の上に座って待っているような方ではありません。

仏になるということ、お浄土に生まれるということとは、生れてそのままじっとしているのではなくて、還相という働きがある。お浄土に生れることを往相といいます。還相といってお浄土から今度はこの世界に還（かえ）って来るという働きがあります。

南無阿弥陀仏をいただいた人はお浄土に生れるだけではなくて、お浄土に生れたら今度は仏として神通力をもって、迷うた人を救うという働きをさせてもらう、そういう力をあたえられる。これは全て南無阿弥陀仏の中にこもっている。

であるから「今からお浄土に参らしていただきますから、お父さんもお母さんも参ってくださいよ」と勧められたお嬢さんはおそらく仏となられて、そして還相してこの世に還って来て、あなたが休んでいるそこに一緒に居て下さる。

それで、寛子さんの所へ往こうなんて思わなくても、寛子さんという、かつては寛子さんであったが、今では仏さまと同じ働きをなさる仏さまとなって、あなたのそばに来て下さる。あなたをしつかりと抱いていて下さる。あなたを照らして下さるお方なんです。

だから、あなたとベッドの中に一緒にいらっしやる。何も案ずることはないんですよ。

ただ、南無阿弥陀仏。南無阿弥陀仏と、ご報謝のお念仏を申させていただくばかりです。



こういう話を、まことにざっとして要領だけ申し上げたのですが、久野さんもただ黙って聴いて居られましたが、時間を見ましたらもう2時間位も経っていました。

これはえらいことをしたと思ひまして、失礼をさせていただきます。（1・2月号に続く）



ご法座等のご案内



| 12 月 | | | 11 月 | | |
|------------------------------|---------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------|-----------------------------|
| 12/31 (日) | 12/18 (日) | 12/11 (日) | 11/27 (日) | 11/20 (日) | 11/13 (日) |
| 午後十一時半 | 午前十時 | 正午 午前十時 | 午前十時 | 午前十時 | 正午 午前十時 |
| 除夜会 年越しの鐘を心行くまで鳴らしてみませんか。 | なかよしクラブ(乳幼児から小学生まで) | 定例法座【岡本信之師】 医療相談【佐藤公彦医師】 | 住職継職法要・報恩講・ 祥月命日合同法要【高田慈昭師】 | なかよしクラブ(乳幼児から小学生まで) | 定例法座【上野隆平師】 医療相談【佐藤公彦医師】 |

● 十一月二十七日の法要は、住職継職法要ならびに報恩講法要をあわせて行います。また、お稚児さん達の参加と、その後皆様方との昼食・懇親会を予定致しております。

編集後記

- ・ 十月九日「前住職岡本泰仁一周忌法要」を、多くのお同行や親戚のお参りのうちに無事執り行うことが出来ました。
- ・ 平成二十九年の来寺記念品を「目覚まし時計」に決定いたしました。元旦の朝からお渡しの予定です。
- ・ また法座予定を書き込んだカレンダーを準備中です。年内にはお届けしたいものです。
- ・ ナナは千葉県君津市の知人宅にお嫁入しました。リキは少し寂しそうですが…。お参りの折には声をかけてください。



【前住職一周忌法要】

【受付口座】 東京信用金庫 椎名町支店 普通口座 1029981
誓願寺 代表役員 古賀尚之

本願寺「宗門総合振興計画へのご懇志」を
次の方々から賜りました。(平成二十八年十月末日現在)

鈴木宝三様 坂本カヨ様 甲野愛子様 永井好美様
金城昭子様 福家修様 嶋倉康治様 杉山洋子様
岩亀隆子様 郡司裕美様 川村君江様 田中吉郎様
鈴木幸子様